

# きそ ネット

第15号

みどりの交流・創造フィールド

発行 平成15年10月20日 長野県 木曾広域連合



## 木曾路の秋、満喫！

第3回 木曾路

## 食の祭典

10月4・5日に木曾文化公園にて“食の祭典”が開催されました  
詳しくは、6ページをご覧ください。



### 主な内容

- 決算報告について
- 木曾介護保険情報
- 広域からのお知らせ
- 食の祭典の様子
- リサイクル広場バザーコーナーの紹介

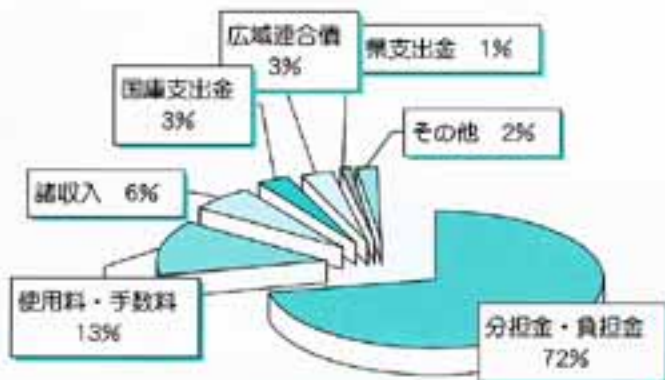


## 木曾広域連合 一般会計

平成14年度決算を報告します

### 歳入

歳入項目	金額(千円)
分担金及び負担金	2,339,220
使用料及び手数料	409,180
諸収入	203,129
国庫支出金	113,629
広域連合債	97,800
繰越金	50,882
県支出金	31,229
財産収入	27,802
寄附金	145
合計	3,273,016



その他 繰越金・財産収入・寄付金

### 平成14年度の主な臨時的歳入

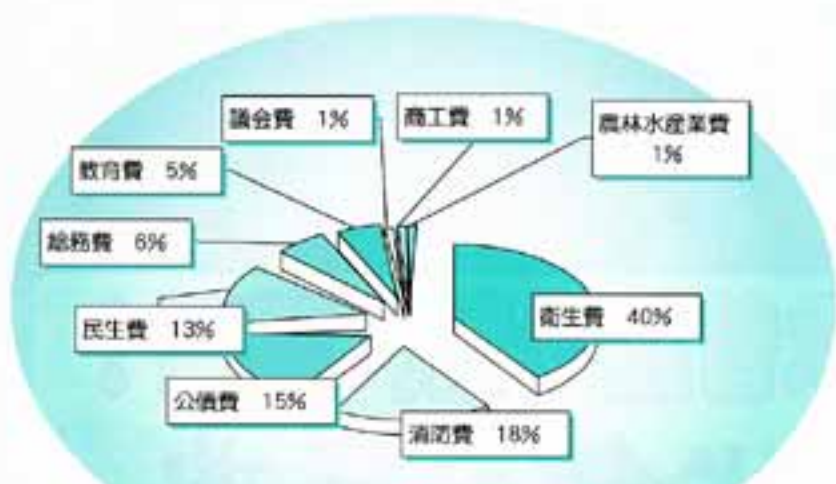
国庫補助金	ダイオキシン対策事業	47,877千円
	救助工作車整備事業	19,445千円
	介護保険広域化事業	46,008千円
県補助金	地域づくり総合支援事業	13,210千円
地方債	ダイオキシン対策事業	94,800千円
財産収入	ふるさと基金利子	26,550千円
諸収入	北部ｸﾘｰﾝﾝﾝﾝﾝﾝﾝ消費税込付金	27,298千円

平成14年度決算が、8月に行われた第3回定例議会に提出され、一般会計と木曾寮、汚泥集約センターの会計について承認されました。一般会計の歳入については、各町村からの分担金・負担金が72%、ごみ処理・火葬・し尿処理施設等で徴収される使用料・手数料13%となっており、歳入の大半が町村からの分担金・負担金で賄われています。



### 歳出

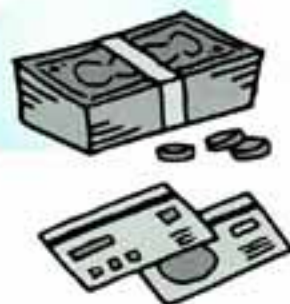
歳出項目	金額(千円)
衛生費	1,281,611
消防費	566,957
公債費	466,852
民生費	410,521
総務費	182,544
教育費	149,756
議会費	30,617
商工費	23,241
農林水産業費	16,664
合計	3,128,763



主な歳出項目としては衛生費が40%を占め消防費18%公債費が15%を占めています。一般会計の歳入は、衛生費、消防費、公債費で73%近くを占めています。民生費の中には木曾寮の養護施設に係る費用も含まれております。

### 平成14年度の主な臨時的歳出

民生費	介護保険広域化事業	88,860千円
衛生費	ダイオキシン対策事業	154,013千円
農林水産業費	山村振興事業	10,120千円
消防費	救助工作車整備事業	49,818千円



## 歳入

歳入項目	金額(千円)
サービス収入	148,991
繰入金	88,000
繰越金	6,733
その他	572
合計	244,296

## 歳出

歳出項目	金額(千円)
総務費	167,904
サービス事業費	28,879
公債費	42,545
合計	239,328



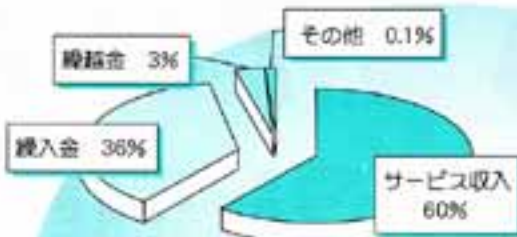
## 歳入

歳入項目	金額(千円)
広域連合債	380,000
国庫支出金	282,700
分担・負担金	30,163
繰越金	9,137
合計	702,000

## 歳出

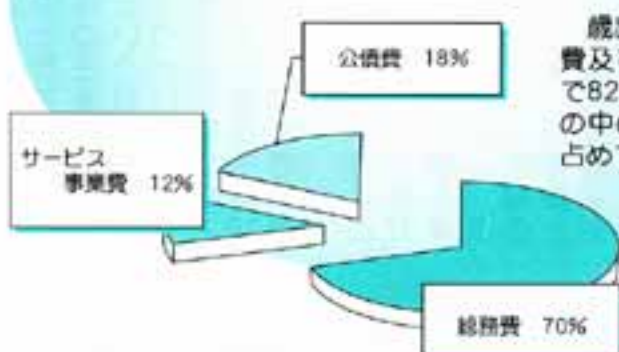
歳出項目	金額(千円)
土木費	698,041
公債費	1,926
合計	699,967

## 木曾寮特別会計(特別養護分)



木曾寮特別会計の歳入はサービス収入60%、繰入金36%で財源の96%が賄われます。

繰入金は、一般会計からの繰入金です。



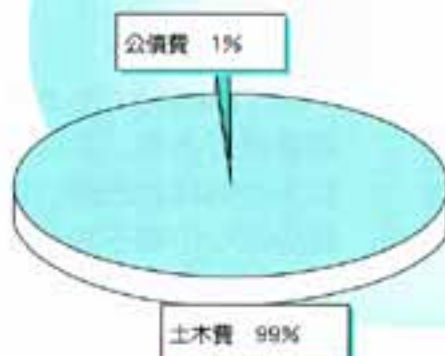
歳出に関しては、総務費及びサービス事業費で82%を占めており、その中の58%が人件費で占めています。

## 汚泥集約センター特別会計



平成14年度の汚泥集約センター特別会計は施設建設をするための会計で、歳入に関しては、広域連合債と国庫支出金で約95%を占めています。

繰越金及び広域連合債の中に前年度から繰越している事業費が含まれています。



汚泥集約センター建設工事として、土木工事・建築工事が実施され、処理機械設置・電気工事についても着手されました。

一般会計では、今まで別会計であった、木曾寮養護老人ホーム分、環境センター、北部クリーンセンター、南部クリーンセンターの各事業分を一般会計に組み入れたため、大幅な増額となりました。

木曾広域連合予算は、ごみ処理・し尿・火葬施設や広域消防、木曾文化公園、木曾寮の管理運営、木曾病院の一角を使用した休日及び休日夜間の一次救急医療など皆さんの生活と密着した部分に使われています。

その他、情報ネットワーク事業により、塩尻情報プラザとの接続を行い電子政府への早期対応、ブロードバンド化への対応、介護保険の広域化、ダイオキシン類対策工事の竣工、有機性廃棄物を重点とした循環型システムの調査、交流人口の拡大を基本方針とした農業振興プランとグリーンツーリズム推進事業、救助工作車の更新等、幅広い事業を展開し予算執行が行われました。



# 木曾広域介護保険情報

この4月から木曾広域連合による介護保険業務が開始されました。木曾広域介護保険情報にて、もう一度介護保険について紹介していきたいと思えます。

## 今なぜ介護保険なの？

私たちの住む日本は世界の長寿国となりました。しかしその一方で少子化が進み、国民の三人に一人が65歳以上という超高齢化社会を迎えようとしています。実際木曾郡においては、高齢化率31%と全国平均19%を大きく上回っておりま

す。寿命が延びるということは大変喜ばしいことですが、その反面、介護を必要とする方々の増加を意味し、また核家族化等による家庭の機能の変化により、介護という社会的問題を一層深刻にしています。更に、その状態も重度化、長期化しており、過度の負担が家庭や介護者に強いられるケースもあり、もはや家族だけでは、現実的に難

しくなってきたのです。この問題は、いずれ自分自身が介護を必要とする状態となったり、介護を必要とする両親の介護者となる可能性を意味しており、今日では介護問題が老後生活の大きな不安要素となっています。この不安を少しでも解消しようとするのが「介護保険」という保険制度なのです。

## 保険制度？

介護保険は、所得に応じた保険料負担と、介護サービスにかかる費用の1割を利用者負担として求めています。

これは、サービスを受ける本人本位でサービスを選択することができ、受けるサービスについては自ら負担し、いままでの与えられたサービスから自ら選択するというサービスとなることです。また、サービスを利用しない方についても、困ったときの支え合い、つまり相互扶助の精神で保険制度が採用されました。

## もし介護が必要となった時には？

### 1 相談・申請

まずは町村窓口にご相談を下さい。介護保険被保険者証を添えて介護保険の申請を行います。

### 2 訪問調査

窓口で申請を行った後、調査員がお宅、又は入院先の病院にお伺いし、身の回りの様子や、身体の状態を聞かせていただきます。

### 3 審査判定

お聞きして作成した調査表と主治医の意見書（再受診が必要となる事があります。）をもとに認定審査会にかけ認定結果が判定されます。

### 4 結果通知

認定結果と新しい被保険者証が自宅に届きます。認定の有効期間内に身体の状態が悪化した場合、認定の変更を申請することができます。

### 5 計画作成

もよりの介護サービス事業者に連絡しサービス計画を立て、計画に基づいた介護サービスを受ける事ができます。

介護が必要という場合はまず、  
町村窓口又は広域連合に  
お気軽にご相談ください！



# 広域からのお知らせ

**第3回広域連合  
定例議会が  
開催されました**

8月29日に行われた第3回定例議会では、平成14年度一般会計と木曾寮・汚泥集約センター特別会計歳入歳出決算について、平成15年度一般会計・介護保険特別会計補正予算について議決されました。一般質問では「国道19号線改良（上松町榎バイパス）に伴う広域連合施設への交通対策にどう取り組むか」が質疑されました。又、本会議終了後には全員協議会が開催され、森林整備協定について、市町村合併に伴う連合事務事業の調整についてそれぞれ協議されました。

**第1回広域計画  
策定委員会が  
開催されました**

広域計画は木曾広域連合が行うべき事業を5年ごとに計画するもので今回は2次の広域計画策定となります。委員は住民代表の方や各種団体の長等の14名で構成されています。9月4日に行われた委員会では今後の木曾のあり方や計画の策定方法、観光についての意見交換がなされました。木曾では現在市町村合併が協議され、大変難しい時期の中での計画策定となりますが、より良い広域行政の道筋を検討いただくこととなります。



**木曾寮開設  
50周年記念式典が  
開催されました**

木曾寮は昭和27年に上松町駒ヶ根養老院として開設され、今年で50周年を迎えました、これを記念して、9月13日に養護・特別養護老人ホーム木曾寮にて記念式典が行われました。

この日は敬老会も兼ね、南進一さん、島梨花さんの歌謡ショーが行われ、入所者ご家族や地域の皆様と一緒に楽しいひと時をすごしました。

会場の入口には生花クラブの作品や木曾寮50年の歴史を写真で展示、また木曾寮だより1号から49号までの展示がされ、式典に花をそえました。

50年の長い間、福祉施設として運営してきましたが、今後もご支援、御協力をよろしく願います。

**道の駅フェアが  
開催されました**

8月8日に樺川村の道の駅「木曾ならかわ」を会場にして、木曾路道の駅連絡会の主催で「道の駅フェア」が開催されました。

木曾のPRとして特産品の販売や羅炎（ラッポ）太鼓の演奏が行われ、来場プレゼントとして虫かごに入った鈴虫が300名分と栓のハガキ500名分が木曾キャンベーンレディから配布されました。

道の駅フェアは毎年木曾の中にある5か所の道の駅で順番に行われており、来年は大桑村で開催される予定です。



### 第3回 木曾路

# 食の祭典



「第3回 木曾路食の祭典」が10月4・5日、日義村の木曾文化公園を会場に開催されました。少し肌寒い陽気の中、郡内外から約1万6千人の方が来場し木曾路の特産品を買い求めながら休日のひとつを楽しんでいました。



木曾路名物『ごへーもち』をほおぼりながら、「次はなにを食べようかな？」



「冷たい水でも平気だよ！」  
つかんだイワナは家族みんなで炭火で焼いて食べました



愛知万博のマスコットキャラクター『キッコロ』が登場！子供たちに風船をプレゼントしてくれました



国道361号権兵衛トンネル貫通を目前に伊那市も参加しました。『野菜の重量当てクイズ』にはたくさんの方がつめかけました



# 木曾川上下流交流事業

～木曾地区森林づくり作業体験～



9月28日（日）、愛知中部水道企業団管内の下流域からのボランティア約85名の皆様が参加して木曾福島町黒川の森林整備を行いました。山の専門家の指導をうけながら、枝打ちや間伐に汗を流しました。お昼は地元ボランティアによるトン汁とおにぎりをいただきました。

## 木曾地域グリーンフロンティアモデル事業

～自然を生かし、自然と生きる～

### 木曾暮らしの工芸展



木曾地域グリーンフロンティアモデル事業の一環として、楡川村木曾暮らしの工芸館が主体となり、10月1日～6日まで高島屋横浜店で工芸展を開催しました。高島屋は1日の平均来場者数が約10万人ということもあり、より多くの人々に木曾の木と工芸品のめぐもりを知って頂くことができました。

工芸展では、木曾観光連盟の協賛により木曾の観光PRも行われ、木曾地域により多くの観光客が来訪してもらえるよう観光パンフレットを配布しました。来場者の中には、「木曾は好きで、毎年行っています」等の声も頂きました。今後とも、活力ある木曾地域を創出するため、意欲ある活動を展開していきたいと考えています。



# リサイクル広場 バザーコーナーの紹介

リサイクル（再資源化）・リユース（再使用）事業の一環として、リサイクル広場でバザーを行っています。

並ぶ品は、地域の人たちから提供された家具、図書類、日用品類で、まだ使用できるものです。

リユース品の値段は、修理やクリーニング等の費用程度としています。

又、家庭用のコンポスト（生ゴミの堆肥化）器具の販売も行ってあります。家で眠っている「捨てるのはもったいないんだけど…」等の家具・日用品や子供服・子供靴があればリサイクル広場にご連絡をさせていただくか、持ち込んでみてはいかがでしょうか？（品によっては取扱いできないものもあります。）



場所 木曾福島町1307-1



場所 リサイクル広場・北部ストックヤード

日時 毎週水、土、日曜日

午前10時から午後3時まで

詳しい連絡先 木曾広域連合環境課 0264-23-1050

リサイクル広場 0264-23-2053

## リサイクル推進に関する アイデア・実践活動を募集!!

木曾郡では地域で発生するゴミをできるだけ資源化するために循環型地域づくりを目指しています。ゴミを減らしリサイクルを進めるにはどんなことをすればいいのでしょうか？ 皆さんでゴミ問題・リサイクルについて考えてみませんか？

### ★アイデアの募集

ごみの減量化・リサイクルの促進に役立つ実践可能なアイデアを募集します。なにをすれば、どのようにごみが減るか？ご提案ください。

### ★実践活動の募集

ごみの減量化、リサイクルの取り組みを募集します。具体的な実践例、既に行っている活動とその成果をご紹介します。



### ★応募方法

- ・応募資格 木曾郡内在住の方
- ・応募用紙は各町村役場の環境衛生担当窓口にて配布しております。
- ・各 最優秀賞1点 優秀賞2点 賞状・記念品をお贈りいたします。
- ・締め切り 11月20日(当日消印有効) ・入選者の発表 広域連合広報誌紙面にて。

問合せ先：木曾広域連合環境課 住所・電話番号については「本誌に関するご意見」に表記してあります。

本誌に関するご意見・ご感想をお気軽にお寄せください。

〒399-6101 長野県木曾郡日義村4898-37

TEL 0264-23-1050 FAX 0264-23-1052 E-mail soumu@kisoji.com

ホームページ <http://www.kisoji.com/kisokoiki>